

水害に備える



集中豪雨や台風に警戒を

一緒に備えを確認しましょう!



近年、急激な天気の変化により、短時間に激しい雨が降るなど、局地的な大雨が増えています。あらかじめ水害に備えましょう。

問合せ 危機管理課庶務係 ☎5984-2762

都市型水害は、河川が近くになくとも発生するため、注意が必要です



STEP1 都内で発生した水害を知ろう!

令和7年9月に目黒区では1時間に134mmの雨量を観測し、世田谷区や大田区、品川区、港区でも記録的な大雨が降りました。この大雨により、目黒川、妙正寺川、石神井川など多くの河川で氾濫の危険が高まりました。

Pick Up 都市型水害とは?

都市では、雨を下水道などを通じて河川へ流しています。しかし、短時間で激しい雨が降ると排水能力を超えて、マンホールなどから水が溢れることがあります。こうした水害を「都市型水害」といいます。

〈過去の水害の様子〉



▲施設の冠水 令和7年9月(目黒区)



▲道路の冠水 平成22年7月(練馬区)

STEP2 浸水が予想される区域を確認しよう!



水害ハザードマップで、浸水が予想される区域や、浸水の深さを確認しましょう。▶配布場所:区民事務所(練馬を除く)、区民情報ひろば(区役所北庁舎1階)、危機管理課(同本庁舎7階)、防災学習センター ※英語、中国語、韓国語版もあります。 ※区HPでもご覧になれます。

Pick Up 目で聴くハザードマップもあります

視覚障害のある方は、アプリ「Uni-voice Blind」を使ってハザードマップの内容を聴けます。

ダウンロードはコチラ▶

水害ハザードマップに加え、土砂災害ハザードマップもあります。併せて確認しましょう!



避難所も確認しよう!

河川の氾濫などの水害に備え、避難所を指定しています。降雨状況や地域ごとの災害の危険性に依りて、優先度(A→B→C)の順に開設します。避難する際は、区HPや水災害専用コールセンター☎5984-2569などで開設状況を事前に確認しましょう。

Pick Up 在宅避難を検討しましょう

避難所に行くことだけが避難ではありません。自宅が安全な地域にある場合は、在宅避難を検討しましょう。

優先度	避難所	住所
A	桜台地区区民館	桜台3-39-17
	旭町地域集会所	旭町3-11-6
	土支田地域集会所	土支田2-40-21
	南田中敬老館	南田中5-15-25
	大泉第一小	大泉町3-16-23
B	関区民センター	関町北1-7-2
	39カ所	詳しくは、水害ハザードマップをご覧ください
C	27カ所	

STEP3 水害への備えを「日頃」と「大雨時」でチェックしよう!

大雨が近づいてからの行動も大切ですが、被害を減らすためには日頃からの備えも欠かせません。突然の大雨にも落ち着いて対応できるよう、普段から確認と準備をしておきましょう。

日頃の備え

☐ねりま情報メール・区公式LINEに登録する

スマホやパソコンなどで、気象情報や避難情報などを受け取れます。



☐防災用品を準備する

水や食料、簡易トイレのほか、停電に備えて懐中電灯やモバイルバッテリーなどを用意しましょう。



☐災害時の行動を決める

家族構成に合わせて、マイ・タイムラインシートを作り、「いつ・誰が・何をするか」を整理しましょう。



東京マイ・タイムライン 検索

大雨時の行動

☐地下・半地下を避ける

雨水が流れ込みやすいため、浸水する恐れがあります。地下・半地下には入らないようにしましょう。



☐土のうや水のうを用意

玄関など水が入り込みやすい場所に、止水板と組み合わせて設置すると効果的です。土のうは土木出張所で配布しています。☎土木出張所【東部 ☎3994-0083、西部 ☎3995-0083】



▲雨水ます

雨水ますへ雨水が流れやすい状態を保つため、日頃から清掃にご協力ください



☐家財を高いところへ上げる

自家用車はあらかじめ安全な場所へ移動し、重要な書類や家電製品、衣類などは2階や高い場所へ移しましょう。

今からできる備えを学ぼう!

風水害講座~いのちを守る備えを考えよう (A)防災学習センター(B)オンラインで開催

集中豪雨・台風時の備えや避難行動の基準となるマイ・タイムラインシートの作り方などを学びます。後日、動画配信もあります。詳しくは、区HPをご覧ください。📅7月11日(土)午後2時~3時30分👥各50名(先着順)📍区HPまたは電話、ファクスで①講座名(A/Bの別も)②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤電話番号⑥電子メールアドレス(Bのみ)を、6月30日(火)までに同センター☎5997-6471 FAX 5997-6472



防災インフォメーション

防災気象情報が分かりやすくなりました!

気象庁は、大雨などで災害リスクが高まる時に、「警報」などの防災気象情報を発表しています。

警報・注意報の名称にレベルが付き、避難判断の目安が明確になりました。「レベル3」や「レベル4」の情報が発表された場合は、河川の水位情報などを確認して早めの避難を心掛けてください。詳しくは、気象庁HPをご覧ください。



〈防災気象情報一覧表〉

	河川氾濫	大雨	土砂災害
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報
警戒レベル1	早期注意情報		

集中豪雨に強いまちづくりを進めています!

集中豪雨などによる洪水を防ぐため、区内には調節池が整備されています。調節池は、雨が多きときに川の水位を一時的にためて調節し、川の水位を下げます。区内には白子川調節池群、富士見池調節池があるほか、城北中央公園調節池などの整備も進められています。



▲白子川地下調節池



▲調節池の位置図(整備を含む)